



在宅医療の 現状と今後について



だな たけし
産業医 田名 毅
首里城下町クリニック

今月の地域むけ医療講演会は、ゆずりは訪問診療所の屋宜亮兵先生をお招きして「在宅医療の現状と今後について」というタイトルで講演いただき、これを **YouTube ライブ配信**しました(当院 HP より聴取できます)。以下の項目に添ってお話いただきましたので、その要旨を報告します。

1、在宅医として開業の経緯

屋宜先生は琉球大学医学部をご卒業後、浦添総合病院、県立南部医療センター・こども医療センターで救急救命医として診療に従事しました。その際に、状態が悪くなって搬送される症例を多く診るうちに、在宅での医療の必要性、重要性を感じ在宅診療に取り組むことを決意したそうです。

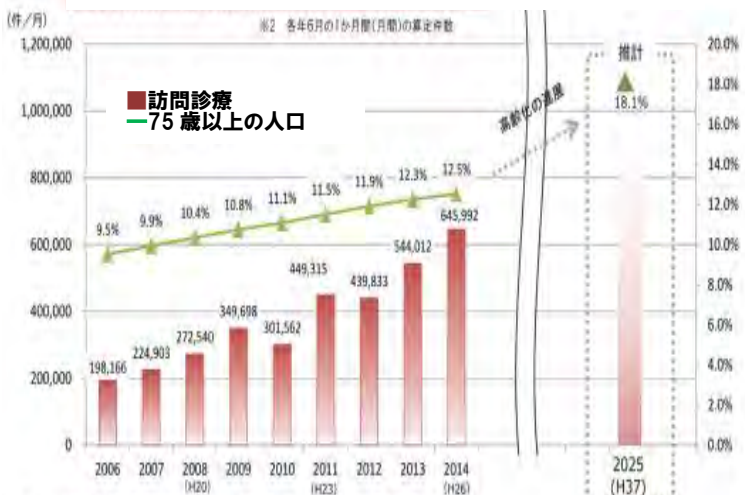
訪問診療の役割は

- ①通常の外来の延長 ②看取り ③入院治療の代替 ④患者さんの転記(帰先)の調整 と考えていらっしゃいます。

2、日本の在宅医療の現状

日本の人口の中で高齢者人口が増加しており、今後この傾向はさらに進んでいることが予想されています。その中で在宅医療を受ける患者の数は年々増加しています。医療機関としては、診療所の2割、病院の3割が在宅医療に取り組むようになっています。屋宜先生は、診療所が2割からあまり増えなくなっていることを危惧している、と話される一方、訪問看護に関わる機関は、平成25年以降急増傾向にあり、**訪問看護が在宅医療を支えながら在宅医療を担っている実態**が垣間見えます。グラフで示すように介護保険を算定する病院・診療所も減少傾向にあります。

在宅患者の訪問診療件数と75歳以上人口



出典：2014年以前は社会医療総連行高野調査(厚生労働省)、人口動態統計(厚生労働省)
2025年の75歳以上人口比率は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位推定による推計結果

訪問看護の実施事業所・医療機関数の年次推移



■ 介護保険の訪問看護を行う実施事業所
■ 医療機関数
※ 在宅患者訪問看護・指導料、同一建物居住者訪問看護・指導料
及び精神科訪問看護・指導料を算定する病院・診療所

出典：「医療費の動向調査」の概算医療費データベース(各年5月調査分)、NDBデータ(各年5月調査分)、「介護給付費実態調査」(各年4月調査分)

3、沖縄の在宅医療の現状

沖縄は在宅医療を実施している診療所の数が全国と比べても少ないことがわかっています。その分だけ在宅医療をしている1施設が担当する患者の数は全国的にみても多いことがわかります。在宅医療に取り組む医療機関が増える必要があると屋宜先生は力説されていました。一方、訪問看護事業所の数は全国的にみても沖縄は多い状況のようです。その分、1施設が担当する患者数が少なくなっているようです。訪問看護の立場でみると受け入れ人数にまだ余裕があるように思えます。全国同様、在宅医の少なさを訪問看護師、介護職の方が支えている構図のようにも見えます。

4、今後の在宅療法のキーマンと展望

那覇地域には在宅医療を行う施設が増えてます。南部地域には少ないため那覇の在宅医療施設から往診に行っているケースもあるようですが、理想的には地域の医師が診ることが望ましく在宅に関わる医師が増えることを期待します。例えば看取り、がん末期のターミナルなどの場合、最期になると医師よりも看護師の果たす役割が多くなっていくのが実情で、訪問看護師の活躍が今後も期待されます。最近話題になった ALS(筋委縮性側索硬化症)などの神経難病の患者さんも屋宜先生は、積極的に在宅医療として引き受けていらっしゃるとのことでした。難病の方、おひとりお一人の患者さんの思いを受け止め、対応することができるのも在宅医療の役割として重要ではないでしょうか、とのことでした。

屋宜先生は

- ・ゆずりは訪問診療所
- ・ゆずりは訪問看護ステーション
- ・まつりか訪問看護ステーション
- ・ひまわり居宅介護支援センター



と複数の組織の立ち上げ、運営に関わっています。

上記のように在宅医療は、医師一人で出来るものではないという認識のもとで屋宜先生は看護、介護に関わっています。今後も屋宜先生に益々のご活躍を期待したいと思います。

医療法人 真成会

代表者 理事長 屋宜 亮兵
所在地 〒903-0815 那覇市首里金城町三丁目32番地



一 運営事業所一

ゆずりは 訪問診療
ゆずりは 訪問診療所
Yuzuriha Visit Medical Office



ゆずりは 訪問看護・リハ
ゆずりは 訪問看護ステーション
Yuzuriha Visit Nursing Station



まつりか 訪問介護
まつりか 訪問介護ステーション
Matsurika Visit Care Station

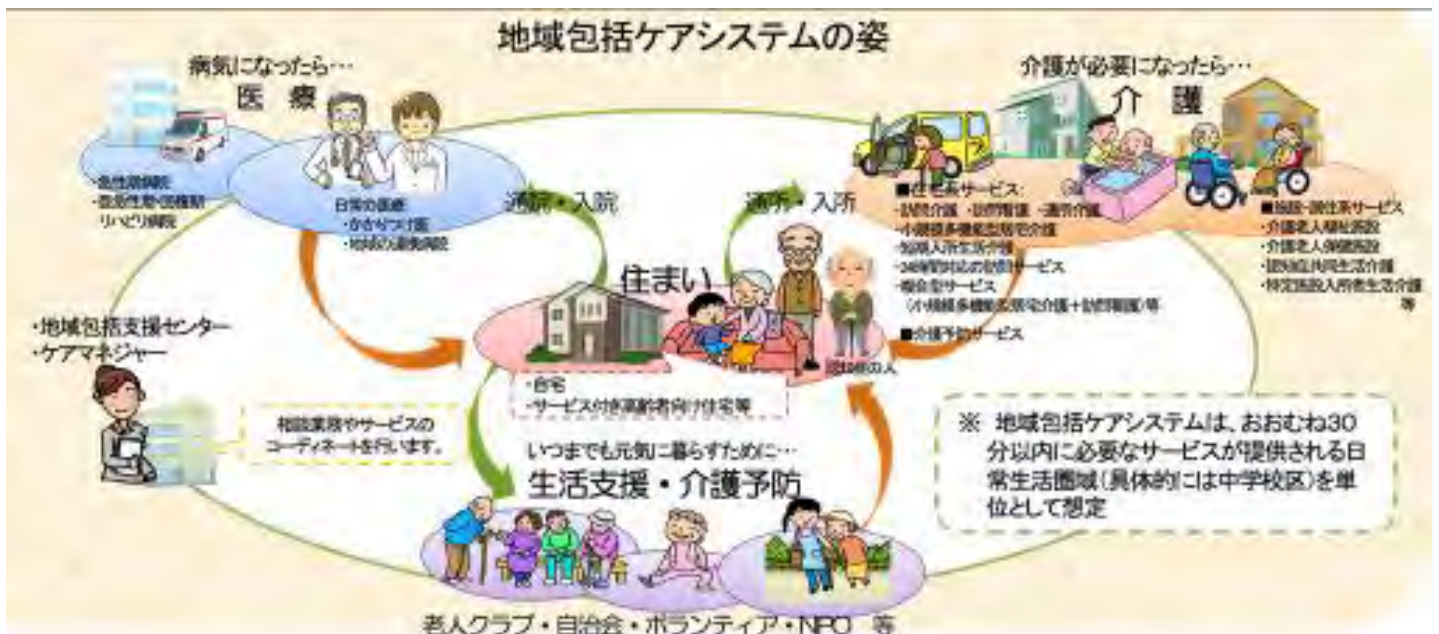


ひまわり 居宅介護支援
居宅介護支援センター
Himawari Home Care Support Center



5、地域包括ケアシステムの姿

さいごに、地域包括ケアシステムを分かり易く示した図がありますのでご紹介します。





199回 首里城下町クリニック地域むけ医療講演会

テーマ：with コロナにおける リウマチ・膠原病 治療の注意点



日時： 令和2年10月14日（水）午後7時

場所： 首里城下町クリニック第一

YouTube ライブ配信のみ

講師： 医）麻の会 首里城下町クリニック第二院長 比嘉 啓

首里城下町クリニック『働く人健康支援室』は、



産業医・内科医
高血圧が専門です
田名 毅

あなたの **相談窓口** です！



保健師・産業カウンセラー
キャリアカウンセラー
認定産業看護師 田名彩子

相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。

★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。

事前にお電話の上、いらしてください。

★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。

事前にお電話くださり働く人健康支援室で“産業医との面談”とお声掛けください。診察や検査の必要がない限りは無料です。

★その他、電話やメール相談も随時行っています。



保健師・産業カウンセラー
キャリアカウンセラー
與儀雅代



看護師 衛生管理者
糖尿病療養指導士
新垣朋子



認定産業看護師
山城愛子



連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室
098-885-5000

携帯 080-4312-9200(田名彩子)

メール sien@sjc.dr-clinic.jp(働く人健康支援室)

プライバシーは守ります。

お気軽にご利用下さい！